

【様式】

令和5年度 学校マネジメントシート

学校名（ 三重県立桑名高等学校 ）

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<p>普通科、理数科、衛生看護科、衛生看護専攻科および定時制課程を設置する本校の特色を生かし、「桑名から 強くはばたく 人づくり」を目指します。</p> <p>そのために</p> <p>① 地域社会や保護者の多様なニーズに応じて、桑員を支える学校の責務を果たします。</p> <p>② 課程、学科の特色を生かして、多様で魅力ある学校をつくります。</p> <p>③ 長い歴史と伝統を強みとして、公教育への信頼を一層向上させます。</p>
(2)	育みたい 児童生徒像	<p>★桑名から</p> <p>① 桑員地域の中学生が最も憧れる高校</p> <p>★強くはばたく</p> <p>② 地球の未来への先駆者となる科学技術人材になれるよう、生徒が充実した学力や技能を獲得し、学ぶ意欲にあふれている状態</p> <p>③ 生徒が部活動などの自主的な活動を通じてリーダーシップと協調性を兼ね備えている状態</p>
	ありたい 教職員像	<p>★人づくり</p> <p>④ 生徒の思考力・発信力を高め、豊かな人間性を育む教育実践を行っている状態</p>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>○生徒 学力向上・充実した部活動・楽しい学校・希望進路の実現</p> <p>○保護者 社会性・安心安全・学力向上・部活動・希望進路の実現・社会的自立・楽しめる学校・一人ひとりを大切にする学校</p> <p>○地域社会 地域の誇りとなるリーダーシップや協調性を持つ人材育成や社会貢献一層信頼できる学校</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p>○大学 知的好奇心やコミュニケーション能力の高い生徒の育成</p> <p>○中学校 特色の明確化、中学校への情報提供</p> <p>○教育産業 ニーズの明確化</p> <p>○保護者 学校の現状・方針等の情報提供と参画の機会</p> <p>○地域社会 地域活動への参加</p> <p>○病院等 地域医療への関心</p>	<p>○大学 高大連携による情報提供</p> <p>○中学校 中高連携による意思疎通</p> <p>○教育産業 ニーズに合った情報提供</p> <p>○保護者 学校と連携した家庭教育</p> <p>○地域社会 地域の教育力の活用</p> <p>○病院等 学校との密接な連携</p>

(3) 前年度の学校関係者評価等		<p>○桑名高校はSSH等にしっかり取り組んでおり、今後も継続してほしい。</p> <p>○働き方改革を進めるうえで、教職員のやり甲斐を削がずに取り組むことは難しく、また、新学習指導要領の実施や観点別評価の導入など、新しい取組を導入されると勤務時間が伸びることも想定される。引き続き働き方改革に取り組んでもらいたい。</p> <p>○少子高齢化が進むなか、衛生看護科の役割が高まっている。また、医療機関での衛生看護科の生徒の学習態度が良いとも聞いている。看護師国家試験 100%合格を目指して頑張りたい。</p> <p>○国際化が進む社会においては発信力が求められるので、語学力を高める努力をしてほしい。</p>
(4) 現状と課題	教育活動	<p>○生徒の実態や習熟度に応じたICTの活用法の研究と実践。</p> <p>○SSH活動を中心として、外部と連携した学びの場を開拓する。</p>
	学校運営等	<p>○教員の働き方改革や多忙解消に向けて取り組む。</p> <p>○本校の魅力を発信するため、広報活動を推進する。</p>

3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>① 生徒の主体的で深い学びを実現し、確かな学力の向上を図るため、教科指導の充実とICTなどの活用を含めた授業改善を進める。</p> <p>② 入学から卒業までを見通した進路指導により、生徒の進路希望の実現を図るとともに、勤労観や職業観を身につけるキャリア教育を体系的に推進する。</p> <p>③ 他者を思いやる心、生命・人権を尊重する心、政治的教養、規範意識などを育む教育の充実に努め、生徒の豊かな人格形成に取り組む。</p>
学校運営等	<p>① 教職員の助け合い・教え合いの文化を育み、教職員が一丸となって取り組む組織力ある学校づくりを推進する。</p> <p>② 学校・家庭・地域等との連携を強化し、本校の教育活動を広く地域に発信し、開かれた学校づくりに努める。</p> <p>③ 総勤務時間縮減に向けて業務を精選するとともにICTの活用を推進し、多忙化解消に努める。</p> <p>④ 種々の事案に対して適格な対応がとれるよう危機管理体制の整備に努める。</p>

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にする。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にする。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
重点① 教科指導の 充実とICT などの活用を 含めた授業 改善	<p><SSH部></p> <p>○地球の未来への先駆者となる科学技術人材の育成を目指します。(桑高SGPプログラム)</p> <p>【活動指標】 学校設定科目「探究」および「研究」、「看護の統合と実践」において課題研究に系統的に取り組み、SDGsの17の目標に対し生徒が主体的に課題を設定する活動を実施します。</p>		◎
重点② キャリア教育 を体系的に 推進	<p>【成果指標】</p> <p>○「新しい科学的発見について」、「協力して物事を解決する力の向上」等の生徒の主体性に係る部分をアンケート調査し、肯定的な意見の合計割合が70%以上を目指します。</p>		
重点③ 豊かな人格 形成	<p><理数科></p> <p>【活動指標】 文部科学省より指定を受けたSSH事業と連携し、ICTを積極的に活用しながら、継続的な教科指導や課題研究活動、校内外での研修活動などへの取組を通して、理系キャリア教育の充実と様々な分野において社会に貢献できる人材の育成を図ります。</p> <p>【成果指標】 授業や校内外の研修における理数科生徒の満足度について、肯定的評価が80%以上になることを目指します。</p> <p><1学年></p> <p>【活動指標】 ○新入生オリエンテーションなどの初期指導と個人面談等により基本的な生活習慣と学習習慣の定着を図ります。また、classroomなどを用いて保護者とも連携できるようにします。 ○進路学習をより具体化し、ICTを活用した大学調べを筆頭に、早期より進路実現に向けて生徒がキャリアデザイン力を身につけることを目指します。 ○定期考査や模試後に結果を分析して生徒に還元することで復習・予習の重要性を理解するようにします。 ○習熟度別講座の設定などを行い、生徒が自身の立ち位置や学習絶対量の向上を意識するようにします。</p> <p>【成果指標】 ○学習状況調査を定期的実施し、教科毎の学習習慣の定着を</p>		◎
			◎

確認する。(数学2:英語2:国語1の割合で最低限の学習時間及び学習量を確保、平日2時間半・休日4時間を指標とします。)

- オープンキャンパスや夢ナビなどを活用し、複数の学校見学等を通じて、普通科と理数科の生徒が各自のキャリア(職業選択)を視野に入れた的確な文理選択及び志望校選択をすることを目指します。
- 12月実施の看護科の実習等を通じて、衛生看護科の生徒の進路意識の高揚や将来設計を促します。

<2学年>

【活動指標】

- 中核学年として、学校行事や部活動において中心的役割を自覚させ、責任感を持って行動できる判断力を育てます。
- 2学年の課題である「学習の中だるみ」を最小限に迎えるために、学年集会、学年通信、個人面談等で学習方法の改善や学習時間確保を指導します。

【成果指標】

- 学習状況調査を定期的実施し、学習習慣の定着を確認します。(平日2時間以上、休日4時間以上学習している生徒が、全体の50%以上になることを目指します。)
- 衛生看護科臨地実習における医療現場の学びから、進路意識を高めます。

<3学年>

【活動指標】

- 各教科担当・分掌と協力し、生徒の進路実現をサポートします。
- 定期考査・模擬試験などの成績分析を行い、授業や課外の指導に反映します。
- 衛生看護科は臨地実習の事前・事後の指導を計画的に行い、進路実現につなげます。

【成果指標】

- 面談回数を増やし、学年集会や進路ガイダンスを定期的に行い、進路意識を高めます。
- 国公立大学の合格者が卒業生の5割以上を目指します。
- 臨地実習の取り組み方や日誌・レポートの提出状況などから進路意識を確認します。

<衛生看護科>

【活動指標】

- 自主的、主体的な学習習慣を確立し、学力の向上・定着を図ります。
- 看護師としての社会人基礎力を身につけるために社会情勢に

◎

◎

◎

	<p>関心をもって学ぶ姿勢を育てます。</p> <p>【成果指標】</p> <p>○看護師国家試験合格100%を目指します。</p> <p><教務部></p> <p>【活動指標】</p> <p>○教員間における「授業公開週間」を年2回設定し、相互に意見交換することにより授業力向上を図ります。教材観やICT活用事例の意見交換など、教員としての経験年数に関わらず互いに切磋琢磨できるような環境作りに取り組みます。</p> <p>○授業担当者の不在が事前にわかっている場合は、極力授業の振替等を行い、授業時間の確保に努めます。また、急な変更の場合は当該教科・学年と連携して迅速に対応します。</p> <p>○観点別評価の位置づけについて正しく理解を得られるように、生徒や保護者に対して事前に丁寧に説明します。</p> <p><総務部（人権）></p> <p>【活動指標】</p> <p>○人権便りを年5回以上発行し、人権講演会や人権ホームルーム（HR）の実施を通して以下のように取り組みます。</p> <p>①差別に気づく豊かな心を育みます。</p> <p>②人権問題を仲間と共に学び、互いの気持ちを理解し合い、認め合えるようにします。</p> <p>③問題解決やよりよい方向を目指して、協調性と積極性を持って取り組みます。</p> <p>【成果指標】</p> <p>○人権講演会・人権 HR 後の感想・アンケートにおいて、肯定的な意見・感想など、95%以上を目指します。</p> <p><生徒指導部></p> <p>○心身の成長期にふさわしい基本的生活習慣の確立や、自主・自律した社会生活が送れるよう指導するとともに、交通事故防止やスマートフォン等の適切な使用、社会や時代の変化に伴う様々なリスクに対する知識や正しい判断能力を身に着けます。</p> <p>【活動指標】</p> <p>○平常授業時には毎朝10分間校門（北門）にて遅刻指導・服装指導・自転車等の安全指導を行い、基本的生活習慣の確立を身に着けます。</p> <p>○定期的に通学路にて登校指導を行い交通事故防止や交通ルールを厳守するよう指導をおこないます。また交通安全講話を開催し交通事故防止に対する意識を高めます。</p> <p>○校内では挨拶の励行、身だしなみを整える「Formal Week」を月に1週間実施し、品格を備えた桑高生を育みます。そして</p>		<p>◎</p> <p>◎</p> <p>◎</p>
--	--	--	----------------------------

年3回全職員体制で頭髪服装指導を実施し身だしなみを整える指導を行います。

○いじめの防止や早期発見に向けた取り組みとして各学期末にいじめや仲間との関わりに関するアンケートを実施しいじめ防止や早期発見に向けた取り組みをおこないます。

【成果指標】

○新制服に移行し2年目となり様々なスタイルの着こなしが選択できる形になりこれまでの統一された画一的な装いではなくなってきたが、制服は常にフォーマルに着こなす意識の定着を目指します。

<進路指導部>

○県内における本校の位置づけを確立すべく、生徒の難関国立10大学進学をサポートするために、様々な活動を実施します。

○新課程入試など生徒の進路決定に必要な情報や実践活動を適時提供します。

○キャリアデザインを念頭に講演会・見学会・ガイダンスを開催します。

【活動指標】

○対面・オンライン形式を併用し、校内大学説明会を実施します。

○名古屋大学進学対策講座「名大チャレサポ」の実施運営します。

○「進学の手引き」「進学だより」「進学ガイダンス」「進路掲示板」を有効に使い、受験情報の提供や意識高揚に努めます。

【成果指標】

○国公立大学現役合格者が卒業者数の4割以上。

(過去10年連続達成)

○名古屋大学合格者数が現浪合わせて13名以上。

(昨年10名)

○難関国立10大学と医学部の現役・浪人合格数が20名以上。

(昨年20名)

○3年4月調査の第1志望校合格者が卒業者数の2割以上。

(昨年2割弱)

○衛生看護科専攻科修了生の看護師国家試験での合格率を堅持します。(昨年も100%合格)

<保健部>

【活動指標】

○心身の健康について考え、生涯を通じて自らの健康を適切に管理できる資質や能力を育てていきます。

○感染症予防に対する取組を強化していきます。

○症候群サーベイランスシステム等を用いて、生徒の心身の健

◎

◎

	<p>康状態を把握し、問題の早期発見、早期対応に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「桑高ほけんたより」を年間10回以上Googleクラスルームにて配信します。 ○「いのちの教育」について、生徒対象講演会を年1回以上実施し、アンケートによる確認をします。 ○教職員間で情報共有を密にし、スクールカウンセラーや学校生活スペシャルマネージャーをはじめ関係機関と連携を取って、生徒・保護者への相談支援活動の充実に努めます。 <p><定時制 学習指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会の変化に対応した「主体的で深い学び」を実現するための教育活動に取り組みます。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個に応じた取り組みを通して「分かる授業」を目指します。 ○1・2年において、国語・数学で習熟度別の授業を実施し、基礎学力の定着及び向上を図ります。 ○外国籍の生徒について、日常会話はもとより、学習言語の定着を図ります。 ○総合的な探究の時間において、防災・環境・安全・健康・人権・進路等に関する講話を実施して、「生きる力」の醸成、生徒間の対話や気づきの促進、自己肯定感の涵養を図ります。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校生活満足度について、生徒の回答のうち「とても楽しい」または「まあまあ楽しい」が80%以上を目指します。 ○授業満足度について、生徒の回答のうち「とても分かる」または「まあまあ分かる」が80%以上を目指します。 <p><定時制 生徒指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ○心身の成長期にふさわしい基本的な生活習慣の確立を目指し、自律した生活が送れるように指導します。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無断遅刻や無断欠席をなくし、基本的な生活習慣を確立できるように指導します ○5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を徹底的に指導します。 ○誰もが気持ちよく挨拶できる雰囲気を作ります。 ○校則や社会のルールを厳守するように指導します。 ○交通安全指導を繰り返し行い、登下校での無事故を目指します。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無断遅刻・無断欠席件数の前年度より50%減を目指します。 ○生徒指導案件5件以下を目指します。 	<p style="text-align: center;">◎</p> <p style="text-align: center;">※</p> <p style="text-align: center;">※</p> <p style="text-align: center;">◎</p>
--	---	---

	<p><定時制 進路指導></p> <p>○労働に対する意欲を持つとともに、主体的に進路選択できるように指導します。</p> <p>【活動指標】</p> <p>○自己の理解を深め、キャリア教育の充実を図ります。</p> <p>○ハローワーク等の関係機関との連携を深め、在学生の未就労者が就労できるように指導します。</p> <p>○大学・専門学校等への進学指導を行います。</p> <p>○卒業後も未就労者に対して、継続的な指導を行います。</p> <p>【成果指標】</p> <p>○生徒の有職率80%を目指します。</p> <p>○卒業後の進路未定者0人を目指します。</p>		◎
改善課題			
(年度末に記載)			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にする。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にする。

【備考欄について】「※」:定期的に進捗を管理する取組 「◎」:最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>重点① 組織力ある学 校づくり</p> <p>重点② 開かれた学校 づくり</p> <p>重点③ ICTの活用</p> <p>重点④ 危機管理体制 の整備</p>	<p><総務部></p> <p>【活動指標】</p> <p>○グループウェアの活用を呼びかけ、朝の打ち合わせや会議時間の短縮に取り組みます。</p> <p>○企画委員会を通して分掌間の連携を図ります。</p> <p>○同僚と相談しながら仕事を進めていける職場づくりに取り組みます。</p> <p>○マネジメント委員会と連携をとりながら、学校行事の見直しや業務内容の精選を図り、勤務時間の縮減・教育内容の充実につながるよう取り組みます。</p> <p>【成果指標】</p> <p>○朝の打ち合わせの全体連絡が8時25分までに終わるようにします。</p> <p>○総務部が関わる会議が1時間以内に終了するようにします。</p> <p>○職員満足度調査の人間関係の項目、「職員間の対話は活発に行われていますか」「同僚と相談しながら仕事を進めていく体制はできていますか」の数値3.0以上を目指します。</p> <p>○職員満足度調査の職場環境の項目、「仕事が精査されてきたという実感はありますか」の数値2.5、定時退校日に定時退校</p>		◎

	<p>できましたか」の数値3.0以上を目指します。</p> <p><情報部></p> <p>ICTを活用できる学習環境の更なる整備を行うとともに、生徒・教職員向けに、授業や講習会等で情報教育を推進します。</p> <p><事務部></p> <p>【活動指標】</p> <p>○生徒や教職員が安全で快適な学校生活を送れるよう、施設整備等の点検・改修を行うとともに、老朽化している本校校舎の長寿命化改修工事を実施します。</p> <p>【成果指標】</p> <p>○施設の保守管理、修繕の不備等に起因する人身事故件数0件を目指します。</p>		◎
情報提供	<p>【活動指標】</p> <p>○学校の特色を生かした取組などを、学校HPへの掲載や報道機関への情報提供などを通じて、保護者や地域へ向けた情報発信に努めます。</p> <p>【成果指標】</p> <p>SSH通信 5回、SSH活動報告 5回、情報提供 2回</p>		
働きやすい学校づくり	<p>○行事や取組の精選を進めます。</p> <p>○総勤務時間の縮減に向け、年次有給休暇等を取得しやすい環境をつくります。</p> <p>【活動指標】</p> <p>設定した日の定時に退校できた教職員の割合 82%以上 (昨年度実績：77.2%)</p> <p>予定通り休養日を実施できた部活動の割合 98%以上 (昨年度実績：99%)</p> <p>放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合77%以上 (昨年度実績：77%)</p> <p>【成果指標】</p> <p>年360時間を超える時間外労働者数 0人</p> <p>月45時間を超える時間外労働者の延べ人数 0人</p> <p>1人当たりの月平均時間外労働 21時間以下 (昨年度実績：24.8時間)</p> <p>1人当たりの年間休暇取得日数 15日以上 (昨年度実績12.9日)</p>		◎
改善課題			
(年度末に記載)			

5 学校関係者評価

明らかになった 改善課題と次へ の取組方向	(年度末に記載)
-----------------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

教育活動につ いての改善策	(年度末に記載)
学校運営につ いての改善策	(年度末に記載)